

令和6年度 市民の声一覧(下半期公表)

受付月	分類	件名	市民の声	回答(対応)内容	回付先
11月	文化・スポーツ	公共バスケットボールコート増設のお願い	高知を探索してみると、公共で簡単に使えるスポーツの場が非常に少ないと感じました。具体的にいいますと、フルコートで遊べるバスケットボールコートは一つもありません。現在あるのは、ハーフコートのみか、床にコートラインが描かれていないコートのみです。設置されている場所も、高架の下などに設置されており治安面に不安が残ります。 青空の下で、スポーツを通じて地域の人々と繋がるバスケットボールコートの増設を希望します。バスケットボールの試合ができるシンプルなコートで十分です。子供たちの健康と育ちにも良い影響を与えると確信しています。よろしく願い致します。	この度は、バスケットボールコート施設の整備について、ご意見をいただき、ありがとうございます。 高知市内には都市公園内に何か所かバスケットゴールを設置しておりますが、ゴールのみの設置であったり、老朽化が進んでいるためボードやネットが紛失していたりと、ご利用いただいている皆様にご不便をおかけしています。 高知市では、さまざまな世代がライフスタイルに応じて気軽にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツの取り組みを進めており、現在は既存の施設の老朽化に対応するための工事などを行い、市民の皆様のスポーツの機会の充実を図っているところです。 新しいスポーツ施設の整備のご要望は、バスケットボールを始め、さまざまな競技で以前からいただいているところですが、施設の設置場所を含めて具体的な方針は立っておりません。 本市としても、実際にスポーツ施設をご利用いただいている皆様にも現状をお伺いしながら、市内における施設整備の検討を進めていきたいと考えています。また、その際には、青空の下の地域の方にとって身近な場所での整備についても検討させていただきます。	スポーツ振興課
1月	文化・スポーツ	高知ユナイテッドに高知市が出資を検討することについて	高知ユナイテッドに高知市が出資を検討とニュースで聞きましたが、どういった理由でしょうか。今年からJリーグですが、これまで以上に試合があり、県外からサポーター等来高される方が増えますが、スタジアムが所在する春野の立地、交通網の弱さ、宿泊施設の高騰、県民の関心の低さ、チームが必要な資金を確保できるかなどについて、不安を感じます。	この度は、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 本市では、地元プロスポーツチームの支援や、市民が一体となって地元プロスポーツチームを応援する機会を通じて、地域におけるスポーツ文化の創造、地域経済活性化、市民の一体感の構築、青少年育成、情報提供の充実、市民の生涯スポーツのすそ野を広げることを目指しています。 この度ご承知のとおり高知ユナイテッドSCが県勢初のJリーグ参入を決めました。 これまで全国で数少ない「Jなし県」として、県民市民が参入を強く望んでおりましたJリーグチームの誕生です。 参入が決定してから高知県とともに支援の在り方について検討しておりましたが、県内外の企業の皆さんのスポンサーシップもいただきながら、高知市といたしましても「オール高知」として金銭面も含めた支援を行う方向性です。 Jリーグの公式戦は「ホームアンドアウェー」で行われ、ホーム試合19試合に加えて「ルヴァンカップ」や「天皇杯」等、春野総合運動公園を中心に行われる公式戦では、多くの県外からのサポーターの皆さんの来県が期待できます。 チームとしてもJFLのホーム試合同様、中心市街地から試合会場への輸送および中心市街地への回遊についても万全を期する計画です。 加えまして全国に遠征するアウェイ試合では、高知県等とともに高知の観光や物産を全国にPRする機会ととらえ、チームとともに試合会場において高知県の魅力的な食や文化、自然等を積極的にPRしていくことも検討されます。 いずれにしましても高知ユナイテッドSCのJリーグ参入を契機として、より一層の地域スポーツの振興、スポーツを通じた地域の一体感の醸成、ならびに地域の活性化に取り組んでまいりたいと考えております。 引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。	スポーツ振興課
1月	文化・スポーツ	高知市観光資源の開拓について	高知城にある推定4百年のイヌマキ巨木についてです。 自然界で偶然完成した「針葉樹イヌマキと広葉樹クスノキが合体」し、一株で生育する超珍奇な天然木ですが、巨木でも地味な存在から市民には殆んど知られていません。 この珍しい日本一のイヌマキ巨木を活用しないのは県民の損失と市民から苦言も出そうです。日本一は観光の目玉にもなるし、この標本から学ぶ自然界の樹木生理等は学生ほか林学関係者の生きた教材です。この貴重な標本を長く保存・活用する為には、伐られない保証として「天然記念物指定」が必須条件と考え高知市に令和4年11月申請しました。経過を昨年末文化財担当係にお伺いしたところ、今年は審議会開催の予定ありとのご返事を頂き、やっと土俵に上がったのかとの思いです。また担当係のお話では、樹木は芸術や文化あるいは建造物よりも一般の関心度は小さい事や、文化価値も小さいと考えている様でした。何より自然界で偶然誕生した「奇跡の天然樹木」との認識や二度と誕生しない樹木等々、日本一の珍奇性等のご理解が難しいみたいな印象でした。一般的に森林県高知の印象が、重要文化財の高知城でも、天然記念物「珍奇樹日本一」の話題が目玉となりうる。また維持管理費は「ほぼゼロ円」しかも枯れるまで数百年も活用できる最高のお宝なのです。 今回突然のお願いで誠に申し訳ありませんが、高知市文化財指定審議会開催までに市長様のお耳へお届けし、なぜ日本一なのか、なぜ奇跡の誕生と言えるのか、一度説明させていただけないでしょうか。天然記念物指定審議会のご理解を深めるためにもご意見等頂ければ幸いに存じます。唐突のお願いでの失礼お許しいただきたく勝手ながらよろしくお願い申し上げます。	令和7年2月4日付けで「市民の声」にお寄せいただいた件につきまして、お答えいたします。 本件につきましては、既に本市の文化財担当課である民権・文化財課におきまして〇〇様から直接お伺いしているところであり、今後は事前調査や文献調査等の結果を踏まえ、本市文化財保護審議会におきまして当該樹木の指定に関する審議を進めていくことになっております。 なお、〇〇様の御指摘にもありますように当該樹木は「針葉樹イヌマキと広葉樹クスノキが合体」している非常に稀な事例であることから、本市文化財指定の有無に関わらず、当該樹木の管理者である高知県とも情報を共有しながら、その保存及び観光資源としての活用等につきまして検討してまいります。	民権・文化財課